

2 地域資源を磨き上げる

(1) 山里観光の広域的推進

<主な取組状況>

- 「**山里の魅力創造社**」において、**TV番組** 6回の放送、**誘客キャンペーン**の実施等を通し、三河山間地域の魅力発信、誘客促進に取り組んだ。
- 三河の山里の農家や地域の仕事を手伝っていただく代わりに、受け入れ側に宿泊や食事を提供していただくなど**短期滞在のワークステイ**を実施した。
- 都市部と三河山間地域の交流を深めるため、**愛知県交流居住センター**での**交流イベント**を計10回開催した。
- 奥三河の観光事業者等を対象に地域ブランディング等に係る実践的なセミナー「**奥三河観光まちづくり塾**」を6回実施した。
- 奥三河の「美と健康」をテーマとした観光のキャッチコピーを「**okumikawAwake/メザメ奥三河**」とし、プロモーションを実施した。



三河の山里ワークステイチラシ



「okumikawAwake」統一ロゴマーク

- 茶臼山高原をスタートし、ゴール地点の湯谷温泉をめざす、距離約70km、累積標高約4,000mの本格的な中距離トレイルランニング大会「**奥三河パワートレイル**」を開催した。



奥三河パワートレイル (4月22日)

- 国内ラリー競技の中では、観客動員数において日本最大級のビッグイベントである全日本ラリー選手権の「**新城ラリー**」を、県営新城総合公園において2回（11月、3月）開催し、あわせて10万人を超える観客を動員した。



新城ラリー（11月3日、4日）

- 地元河川がもつ多面的機能の理解促進を図るため、小学生等を対象として河川で**あゆの体験放流**と**学習会**を行った。
- リニアインパクトを三遠南信地域全体に波及させる**三遠南信自動車道**について、**佐久間川合IC～東栄IC**（約6.9km）が平成31年3月に**開通**した。



写真：東栄IC（全景）

三遠南信自動車道（佐久間川合IC～東栄IC）開通（3月2日）

(2) 伝統文化の継承・発信

＜主な取組状況＞

- 愛知県庁本庁舎の地下連絡通路において、奥三河各地で開催される**花祭**のポスターを掲示し、花祭の魅力を発信した。

(3) 自然環境の保全・利用

＜主な取組状況＞

- 生活様式の変化等により放置され荒廃した里山林を、**地域の住民や団体**により利活用してもらうために必要な整備を、**あいち森と緑づくり事業**で実施した。
- 自然公園法及び愛知県立自然公園条例に基づく許認可制度の適正な運用を行った。
- 自然公園施設等（**茶臼山公園施設、面ノ木公園施設、東海自然歩道**）の管理及び利活用の増進を図った。
- **愛知県自然環境保全地域**の一つである**田之土里湿原**において、地元の活動団体と協力して、散策路の雑草の除去や低木の伐採、石畳の目地に詰まった土の除去などの**保全作業**を行った。



田之土里湿原保全作業（6月11日、11月21日、1月8日）

(4) 生物多様性の保全

<主な取組状況>

- 「**あいち森と緑づくり税**」を活用した市町村やNPO等が行う自発的な**森と緑の保全活動**や**環境学習**に対し助成した。
- 健全な森林生態系の保全・創出のため、**人工林間伐地に広葉樹を植える体験型バスツアー**を開催した。（新城設楽生態系ネットワーク協議会主催）



体験型バスツアー（植樹作業：10月13日）

- 「森・生きもの・人が共生する持続可能な地域づくり」の実現方策を探る等のため、**新城設楽生態系ネットワーク形成フォーラム**を開催した。（新城設楽生態系ネットワーク協議会主催）



新城設楽生態系ネットワーク形成フォーラム（11月18日）

(5) 鳥獣害対策の推進

<主な取組状況>

- 狩猟免許試験を実施した。(2回)
- 第二種特定鳥獣管理計画の推進により、適正な**鳥獣管理**を図った。
- 鳥獣被害防止対策事業(国費)、山村地域鳥獣被害防止対策(県費)を活用し、**侵入防止柵や捕獲檻を設置・導入**した。
 - ・侵入防止柵 134 k m (うち、金属柵 98 k m、電気柵 36 k m)
 - ・捕獲檻 126 基 (うち、「おりべえ」* 3 基)
- ※「おりべえ」は、愛知県農業総合試験場が開発したイノシシ・ニホンジカ用捕獲機材。イノシシ等を群れごと効率良く捕獲することが可能な大型の囲いわな。
- 山里の魅力創造発信事業において、**ジビエ**に関する情報を発信した。



シンガポール向け情報誌に掲載